

静かなる浸透 — 経済安保・地政学リスクの構造を読む

地政学・国家ガバナンスリスク シリーズ (TK MAX)

独立・非営利・無料の「学習・思考のためのシミュレーター」

中立・客観のデータ空間:

公的データと法制度に基づき、非軍事的な影響力行使の「構造」を可視化。

思考のためのシミュレーター:

単一の結論を押し付けず、提示されたパズルをどう組み立てるかは視聴者に委ねる。

3つの未来シナリオ:

経済と安全保障のトレードオフをワンクリックで切り替え、連鎖的な影響を体感。

※本資料は特定の国・民族・主体を非難するものではありません。感情論やバイアスを排し、冷徹なマクロデータと構造のみを扱います。

浸透の4段階ロジック：非軍事的な影響力行使の構造

特定の対象を名指しせず、依存と影響が静かに積み上がる概念モデル

Phase 1：経済・重要インフラ依存 影響度：低～中

【合理的な経済判断の蓄積】
水源地・国境周辺の土地取得、再エネ事業への参入、代替困難なサプライチェーン（半導体・レアアース等）への依存。

Phase 3：政治・法制度工作 影響度：中～高

【ルール形成プロセスへの介入】
政策決定者への接触、登録義務のない外国人ロビイスト活動、シンクタンクを介した政策提言。

Phase 2：社会・文化浸透 影響度：中

【意思形成領域への関与】
大学への寄付講座・奨学金、産学連携による先端データ流出、SNS等での世論誘導（サイバー影響工作）。

Phase 4：実質的支配・無力化 影響度：高（有事顕在化）

【依存のレバレッジ化】
有事における重要インフラ機能停止、意思決定プロセスへの介入、エコノミック・ステイトクラフト（対外圧力）。

属性管理の限界（Traceability Gap）と未解決のパズル

世代交代に伴うデータ構造上の「不可視化」：国籍や人種に基づく選別は、構造的・法的に機能不全に陥る。

1世（入国者） | 追跡可能性指数：90

出生国・査証・入国記録が公的DBに存在。
言語・生活習慣のシグナルが明確。

2世（現地生まれ／帰化） | 追跡可能性指数：40

現地教育を受け、外見的・言語的識別は事実上困難。
法的には完全な市民権を有。

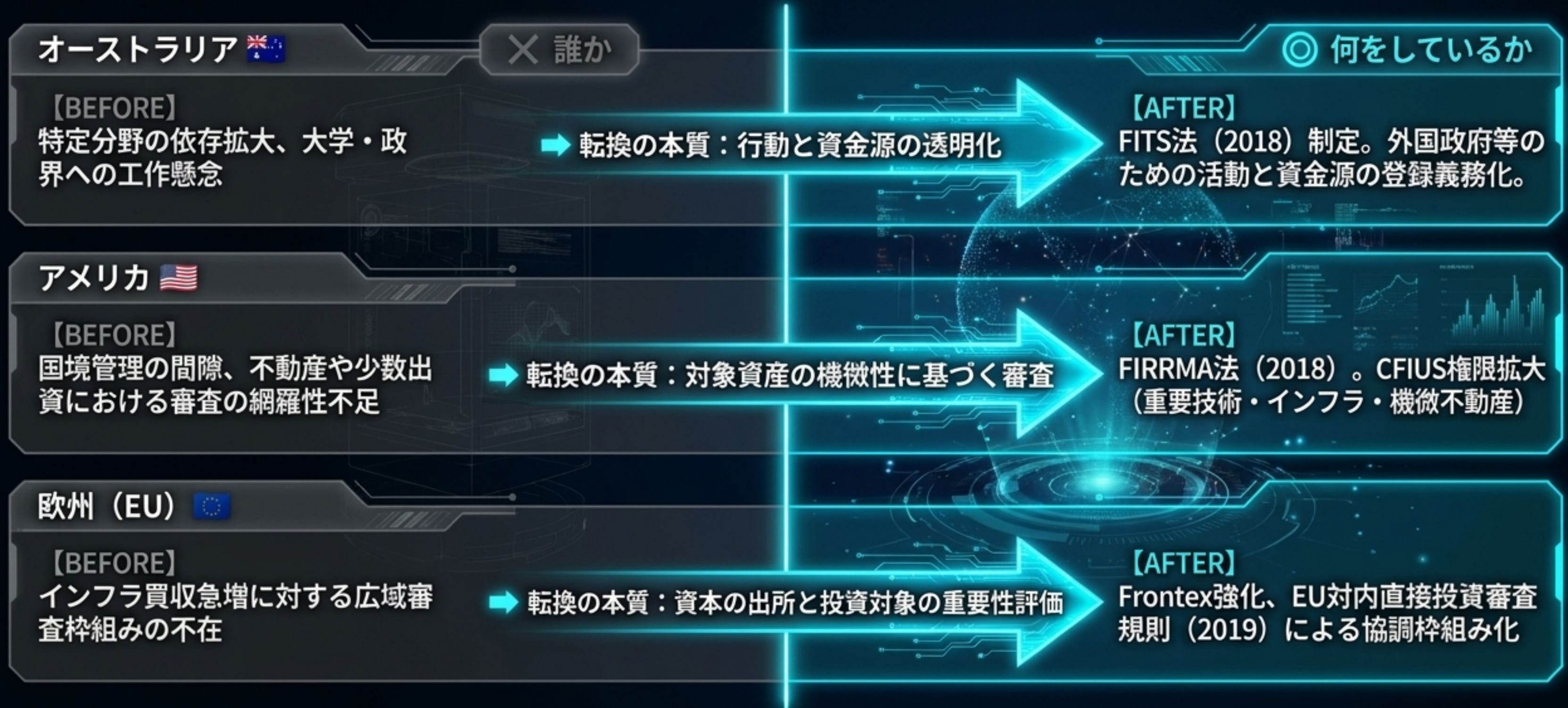
3世以降（完全同化世代） | 追跡可能性指数：10

データ環境・社会構造が受入国と完全に一体化。
属性基準の選別は人権法制上も不可能。

【未解決のパズル】 属性（国籍・人種）に基づくアプローチが構造的に破綻する中、公正かつ実効的な新基準を、我々は何に置くべきか？

主要国の政策転換：新しいルールの本質

各国の共通解：「誰か（属性）」から「何をしているか（行動・資金・資産）」へのシフト。



日本の現在地と未来シナリオ：経済と安全保障のトレードオフ

日本の現在地（2026年時点）と制度的ギャップ

[重要土地等調査法]
一部整備（利用規制・勧告のみ）

[経済安全保障推進法]
整備・積極的運用中（インフラ・サプライチェーン等）

[セキュリティ・クリアランス]
運用開始・発展途上（対象範囲拡大中）

[GAP]
外国人ロビイスト登録義務の不在 / アカデミアからの流出防止（研究インテグリティ）の限定的整備

3つの未来シナリオ（政策厳格化度スライダー）



統合データマトリクス：法制度とリスクセクターの国際比較

各国の防御レイヤー整備状況。すべての国が「属性」ではなく「行動・資金源」へシフトしている。

国・地域	ロビイスト・影響透明化法	重要インフラ投資審査	土地取得規制	研究インテグリティ	属性(国籍/人種)基準の使用
オーストラリア	整備済	一部整備	一部整備	整備済	不使用
アメリカ	整備済	整備済	一部整備	整備済	不使用
欧州 (EU)	一部整備	整備済	一部整備	一部整備	不使用
日本	未整備	整備済	一部整備 (利用規制のみ)	未整備	不使用

外資規制、ロビイスト登録、研究インテグリティ。どのレイヤーを、どこまで強化すべきか。
経済と安全保障のトレードオフの中で、このパズルを解くのは視聴者自身です。